

STEERING GEAR SERVICE NEWS

DATE : 2021/8/3

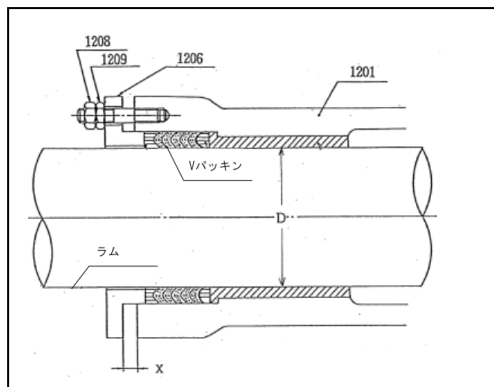
No.: E8-21-002

SUBJECT : Vパッキン部からの油漏れについて

舵取機にはラムが作動する際にシリンダー内の作動油が外部に漏れない様にVパッキンを使用しています。Vパッキンはラム表面に薄い油膜を形成する特性上僅かな油漏れがあります。この油漏れはVパッキンの機能上において必要なものであり異常ではありませんので、垂れた油は適宜、拭き取って下さい。パッキングランドの下部に油受けが設置されている場合は適宜、油受け内に溜まった作動油を廃油として処理して下さい。Vパッキン部からの連続的な漏れが認められた場合は、無負荷でラムを1往復させ、作動油の滴下量が2～3滴以上であればパッキングランドを下記の要領で増し締めして下さい。

<Vパッキン増し締め要領>

- 1) パッキングランド(符号1206)の六角ナット(符号1208)を緩めます。
- 2) 六角ナット(符号1209)を1/4回転程度均等に締め込みます。
注意) 片締めしないこと。片締めするとラムとパッキングランドが干渉し、ラムの傷の原因となります。
- 3) 舵取機を作動させ、Vパッキンからの油漏れ状態を確認して下さい。
- 4) 2)、3) を繰り返し、ラム表面に薄い油膜が出来る状態にして下さい。
- 5) 増し締め調整後、六角ナット(符号1208)を締め、再度舵取機を作動させて状態を確認して下さい。



増し締め調整は、シリンダーとの隙間 (X) が 0mm となるまで調整が可能です。ただし、パッキングランド部を過度に締め付けるとラムが作動する際にビビリが生じる事が有ります。また、油膜が形成されないことでラム表面に錆が発生する事がありますのでご注意下さい。

Vパッキンは日々舵取機を使用することで経年劣化しますので、5～7年毎の交換を推奨します。

ラム表面に異物が付着した状態でラムを作動させた場合、異物がラムとVパッキンの間に噛み込むことでラム表面に傷が発生し、Vパッキンが破損することで油漏れに至る可能性があります。ラム表面、Vパッキンの状態を出港毎及び毎月点検し、ラム表面が清潔な状態であることを確認して下さい。

KAWASAKI HEAVY INDUSTRIES, LTD.
PRECISION MACHINERY BUSINESS DEVISION
CUSTOMER SERVICE DEPARTMENT